



ヨハン・シュトラウスⅡ世「ヴェネツィアの一夜」を味わい尽くす(その1)

お話・演奏：田辺 秀樹（一橋大学名誉教授）

1883年にベルリンで初演された『ヴェネツィアの一夜』は、『こうもり』、『ジプシー男爵』と並ぶシュトラウスの名作オペレッタ。カーニヴァルのお祭り気分にかきかえるヴェネツィアを舞台に、好色なウルビーノ大公の来訪が引きおこすヴェネツィア人たちの愉快なスツタモンダを描いています。詳しい解説とともにドイツ・ユニテルによる映画版(1957年)、メルビッシュ音楽祭での上演(1999年)、日本オペレッタ協会による日本語上演(2013年)などのビデオなどによって、ことのほか悦楽的なシュトラウス・オペレッタを味わいつくそうという次第です。2回、あるいは3回のシリーズになる予定です。

そのあとはいつものように、お飲み物とピアノ演奏をお楽しみいただきます。

日時 2019年 6月25日(火) 14:00~16:30
参加費 ¥3,500 (ワイン、お茶、おつまみが付きます) 当日受付にてお支払ください
会場 カーサ・モーツァルト
東京都渋谷区神宮前1-10-23 3F



JR「原宿駅」徒歩5分
東京メトロ「明治神宮前駅」出口5徒歩2分
ラフォーレ原宿裏、東京中央教会前

申込み メール：info-cmma@casamoz.org
FAX：03-3497-1833

メールまたはFAXにお名前、ご連絡先、ご希望人数を明記ください。

田辺 秀樹 (タナベ ヒデキ)

1948年東京生まれ。東京大学大学院ドイツ文学科修士課程修了。
ボン大学に留学し、ドイツ、オーストリア各地でオペラ見物やコンサート通いに精を出す。専門はドイツ語・音楽文化論。研究対象はモーツァルト、ドイツ語圏の歌曲、歌劇、芸能など。音楽評論、放送番組解説でも活動、
秘かに「酒席ピアニスト」としても活躍している。
著書に「モーツァルト」(新潮文庫)、「モーツァルト16の扉」(小学館)。
「リヒャルト・シュトラウスの実像」(共著・音楽之友社)ほか。

